



イノベーター人材育成に向けて、慶應義塾大学先端生命科学研究所と包括連携協定を締結

革新的人材育成プロジェクト

企業におけるイノベーター人材育成に向けて、慶應義塾大学先端生命科学研究所と企業が包括連携協定を結び、社員を鶴岡に派遣して自由な研究活動を展開するプロジェクトが2018年から始まっています。派遣される社員は社業を持たず、最先端の研究・ビジネスの拠点である慶應義塾大学先端生命科学研究所、鶴岡サイエンスパーク、そして社会課題とビジネス創造の現場である地域をフィールドに、自らテーマを掲げて取り組み、ネットワークを進めています。



損保ジャパン

明治安田

BIPROGY

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

SHISEIDO

Hakuhodo DY holdings

タカラバイオ株式会社

鶴岡への社員派遣人数と活動テーマ

| 協定年 | 連携企業 | 累計派遣人数 |
|------|-----------------|--------|
| 2018 | 損保ジャパン | 5名 |
| 2018 | 第一生命ホールディングス | 4名 |
| 2019 | 明治安田生命 | 1名 |
| 2019 | BIPROGY | 1名 |
| 2021 | SMBC 日興証券 | 1名 |
| 2022 | 三井住友信託銀行 | 2名 |
| 2022 | 資生堂 | 3名 |
| 2024 | 博報堂 DY ホールディングス | 1名 |
| 2025 | タカラバイオ | 1名 |
| 合計 | | 19名 |

- 文理融合人材育成プログラムの開発・広報・地域活動
- ヘルスツーリズムの新たな形態の提案と山形県鶴岡市モデルの設計に向けた活動
- 離任地へ継続的な訪問を行う転勤経験者の経験
- 農繁期における人手不足解消のためのマッチングシステムの設計と構築
- 観光をより魅力的にする「地域観光ガイドプラットフォーム」

- アメリカミズアブによる多様な有機廃棄物処理における成長効率の比較検証と要因の推定及び、残渣肥料の成分分析及腸内細菌叢解析（山形大学農学部との共同研究）
- 精神保健資源が不足する地域で認知行動療法を用いたストレスマネジメントを普及させるための活動
- 地方部でのスマートフォン利活用能力向上プログラムの策定と運営
- 中小企業におけるワーク・エンゲイジメントと離職意識の解明／高等学校における最適なキャリア教育の検討と実践
- スポーツを軸とした地域活性
- AI 技術を適用したメタボローム解析／地域教育活動
- 腸内細菌関連事業の事業化に関する活動
- 心と腸の関係とそのパフォーマンスへの影響
- 漢方薬に関する解析
- 納豆菌のグロースに関わる支援（研究技術のビジネスへの実装支援）
- 酒粕及び酒粕由来 Nanoparticle の内包物分析及機能性の探索
- 胃がんと薬剤と遺伝子変異の影響の解明に関する研究
- 国内トップレベルのオミクス機構の構築と地域拠点間の産学連携による二刀流人材育成



バイオ実習



農業体験



研究活動



地域に入って活動



ネットワーキング



文化体験